

N-4: 参加者ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 10:40-12:10 新C103(1階)

スキル認証の現状と方向性を考える

各大学等研究機関に研究支援人材(URA)の配置は進む中、URAの業務、個人スキルは多様性に富み、各機関において様々である。このような環境の中で、URA人材の採用・配置、育成、評価、雇用環境に関して山積する課題のうち、採用や人材育成に資するものとして、URAの「質保証」を狙いとしたスキル認定制度が議論されている(平成30年リサーチ・アドミニストレーターの質保証に資する認定制度の導入に向けた論点整理)。この議論の中では、「質保証」の取り組みによって、「スキル標準」への適合性や卓越性を明確化でき、結果、URAの知識・能力の向上を図る意義があると議論されている。また、スキル認証制度は、各大学等研究機関間での共通指標としての意義等が議論され、先行する大学等研究機関におけるURAの実務能力に対する認定の取り組みも取り上げられている。一方で、実際のURA業務を行っている各大学等研究機関あるいは各URAにおいては、スキル認定制度やスキル認証に対する具体的な検討、取り組み状況、あるいは、認識が異なると考えられる。

そこで、本セッションにおいては、大学等研究機関におけるURAに対するスキル認証への取り組み状況、スキル認証制度がURAの採用、人材育成、業務評価に与える影響、またURAの向上方向等々、本セッションの参加者間の意識や意見交換の場を設け、本制度の方向性を考える機会としたい。

オーガナイザー

高橋 仁: 広島大学 学術室 研究企画室 URA



2016年広島大学URAに着任し、主に医療系の外部資金獲得あるいは研究プロジェクト企画等を中心とした研究推進業務に従事している。前職での約9年間、研究活動に従事した。2018年度、RA協議会スキルプログラム専門委員会資格認証ワーキンググループにおいて、リサーチ・アドミニストレーターの資格認証制度に関する現状や課題を把握・整理するためのアンケート調査の活動を行った。

平田 徳宏: 九州大学 学術研究・産学官連携本部
産学官連携渉外・調整グループ
サブグループリーダー/研究推進准主幹



2003年より九州大学の技術移転・産学連携業務を担当。2016年九州大学URAに着任。外部資金獲得及び研究企画・支援業務に従事。